

## Panel Discussion 2: Spin current

Thursday, 16 March 2023 16:10 (1h 50m)

### 『流れるスピン』

電気といえば電荷の流れですが、電子のスピンの流れ（スピン流）を利用した新しい技術が、高効率・省電力を実現するスピントロニクスとして注目を浴びています。一方で、原子核物理においてもスピンは切っても切り離せない重要な物理量であり、原子核の安定性や反応のしやすさに関わっています。もしスピントロニクスのように、原子核の中でスピンの流れていると考えた場合、原子核を新しい視点から見直すことができるでしょうか？また、スピントロニクスは物質中の電子だけではなく原子核も含めた系にまでその範囲を広げつつあります。次世代のエレクトロニクスとして、果てして原子核は重要な役割の一端を担うことができるのか？その可能性についてスピン流の専門家をお呼びして一緒に議論します。

パネラー: 家田淳一 (JAEA)、吉川貴史 (東大)、立石健一郎 (理研)、日野原伸生 (筑波大)

ファシリテーター: 湊大志 (JAEA)

**Primary authors:** IEDA, Jun'ichi (Japan Atomic Energy Agency); TATEISHI, Kenichiro (RIKEN); HINOHARA, Nobuo (Center for Computational Sciences, University of Tsukuba); KIKKAWA, Takashi

**Presenters:** MINATO, Futoshi (Japan Atomic Energy Agency); IEDA, Jun'ichi (Japan Atomic Energy Agency); TATEISHI, Kenichiro (RIKEN); HINOHARA, Nobuo (Center for Computational Sciences, University of Tsukuba); KIKKAWA, Takashi

**Session Classification:** Panel Discussion 2: Spin current